



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東  
 コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 浩一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の業績 (2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,497	—	263	—	308	—	231	—
2020年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	15.18	14.88
2020年9月期第2四半期	—	—

(注) 2020年9月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年9月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,549	3,382	60.9
2020年9月期	5,038	3,153	62.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 3,382百万円 2020年9月期 3,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,062 ～7,377	—	300	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	15,255,160株	2020年9月期	15,225,160株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	86株	2020年9月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	15,228,536株	2020年9月期2Q	15,211,260株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は『働き方革命～世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる』というビジョンを掲げ、創業以来、インターネットを活用して個人が報酬を得るための仕組みであるクラウドソーシングを中心としたオンライン人材マッチング事業を推進しております。近年、政府の掲げる「一億総活躍社会実現」における最大のテーマ「働き方改革」に沿って、潜在労働力となっている女性やシニア、障がい者などの活躍の機会拡大、会社員の副業・兼業など、企業に勤める以外の働く選択肢が広がり、個人の働き方への価値観は多様化しつつあります。また、2019年4月より「働き方改革関連法」が順次施行され、2020年4月には「同一労働同一賃金」の施行、2021年4月の「高年齢者雇用安定法」の改正による70歳までの雇用延長など、従来の雇用制度を見直す動きが広がっております。

こうした流れを受け、従来の枠にとられない形で人材獲得を進めたい企業が増加しているほか、日本を代表する大企業も自社の従業員の収入増加、モチベーションの向上、優秀な人材の確保・定着などを目的として、従業員の副業・兼業を容認する動きが広がっております。また、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、企業規模・業種を問わず在宅勤務やテレワークを導入・活用する動きが広がり、社会全体でデジタルシフトが加速するなど、新しい働き方・新しい生活様式（ニューノーマル）に対応していく動きが広がっております。これにより、企業活動のデジタル化やEC化、それに伴う外部の専門人材（フリーランス・副業者・兼業者）の受け入れ拡大、インターネットを介して働くクラウドワーカーの活用など、人材調達に関する企業ニーズが変化しはじめており、当社を取り巻く市場にとって追い風となっております。

このような環境のもと、当社はコア事業であるマッチング事業への投資を集中する方針のもと、連結子会社を吸収合併して単体経営に移行したことにより、成長率の向上と生産性の向上による収益性の増加を図ってまいりました。その結果、当第2四半期累計期間においては、マッチング事業の総契約額、売上高、売上総利益の業績予想進捗率が50%超となったことに加え、生産性向上の取り組みが進展したことにより、当第2四半期累計期間において営業黒字を実現いたしました。

市場環境においてもエンジニア・デザイナー等の専門人材を求める企業需要は引き続き高い状態にあり、外部の専門人材やクラウドワーカーの活用は今後も増加が見込まれます。また、コロナ禍において多くの企業でテレワークの導入が進み、業務やマーケティングのデジタル化が進んだことから、オンラインによる事務アシスタント需要の増加や、エンジニア・デザイナーを中心とした高単価×高継続のハイエンド人材マッチングが好調であります。

ビジネス向けSaaS事業においては、フリーランスや社内人材の業務管理を効率的に行うSaaSサービスとしてクラウドログを提供しており、マッチング事業の顧客アセットを活用しながら導入契約社数を順調に伸長させており、期初の方針の通り引き続き先行投資を継続していく予定です。

以上の結果、当第2四半期累計期間の当社業績は、売上高3,497,157千円、営業利益は263,716千円、経常利益は308,213千円、四半期純利益は231,107千円となりました。

(注) 当社は当第2四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書に係る比較情報を記載しておりません。

セグメント業績については、次のとおりであります。

#### ① マッチング事業

当第2四半期累計期間のマッチング事業においては、選択と集中による投資継続と生産性向上プロジェクトの実施により、総契約額・売上高・売上総利益については期初開示予想に対し上振れて進捗しております。販管費については、期初計画どおりWEB広告による継続的な広告投資を実施し、当事業年度の計画に沿って投資を実行したほか、支払手数料の見直しや生産性向上プロジェクトに継続的に取り組んだことで、期初開示予想を超える営業利益を計上いたしました。

この結果、取引額の総額を示す総契約額は7,162,824千円、売上高は3,448,904千円、売上総利益は1,554,668千円、セグメント利益は357,920千円となりました。

#### ② ビジネス向けSaaS事業

当第2四半期累計期間のビジネス向けSaaS事業においては、企業向けの業務管理ツールの導入が過去最高を記録し、順調に顧客を拡大しております。新規契約社数の増加による順調な成長により、さらなる成長拡大に向けたマーケテ

イングおよび新機能開発やサービス改善のための先行投資を実施しております。

このため、売上高および売上総利益は48,028千円、セグメント損失は83,894千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は5,549,792千円となり、前事業年度末に比べ511,148千円増加しました。総資産の増加は子会社の吸収合併及び事業拡大に伴う流動資産の増加によるものであります。流動資産は5,200,077千円となり、主な内訳は、現金及び預金が3,689,711千円、売掛金が703,456千円であります。固定資産は349,715千円となり、主な内訳は、有形固定資産が77,301千円、無形固定資産が43,728千円、投資その他の資産が228,684千円であります。

### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は2,167,228千円となり、前事業年度末に比べ281,861千円増加しました。負債の増加は子会社の吸収合併及び事業拡大に伴う流動負債の増加によるものであります。流動負債は2,134,207千円となり、主な内訳は、預り金が1,135,537千円、未払金が570,810千円であります。固定負債は33,020千円となっております。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は3,382,563千円となり、前事業年度末に比べ229,287千円増加しました。純資産の増加は四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

企業の人材不足と多様な働き方を求める社会的機運の高まりにより、国内のオンライン人材マッチング市場は今後とも中長期的に拡大が続くと想定されます。2021年9月期はマッチング事業への投資集中・投資継続を図りながら、生産性向上と事業構造改革に取り組み、通期黒字化を目指す方針です。

また、当社は2020年9月期にグループ企業である株式会社ブレンパートナーを吸収合併し、受託事業の子会社2社を売却・撤退、2021年1月に連結子会社の株式会社ビズアシ、株式会社gravieeの吸収合併を行うことで、単体経営に移行いたしました。

この結果、連結決算は第1四半期までとなり、第2四半期以降は非連結決算となっております。これにより、2020年11月13日に公表した連結業績予想を、個別業績予想に変更するとともに、第1四半期まで連結子会社であった株式会社ビズアシと株式会社gravieeの吸収合併により生じた抱合せ株式消滅差損益を特別損益項目に計上しております。

また、当第2四半期累計期間における業績予想に対する進捗と生産性向上の取り組みが順調に進展したことから、当第1四半期に公表した業績予想を修正いたしました。

業績予想に関する説明は以下のとおりです。

当第2四半期累計期間においてマッチング事業への投資集中による順調な成長と生産性向上の取り組みが奏功し、260百万円を超える営業黒字を計上することとなったことから、通期の営業利益の予想を300百万円以上に上方修正いたしました。これにより、2021年9月期通期業績につきましては、総契約額13,797百万円～14,435百万円、売上高7,062百万円～7,377百万円、売上総利益3,127百万円～3,265百万円、営業利益については300百万円以上となります。

セグメント別の業績につきましては、2021年9月期のマッチング事業の総契約額が13,697百万円～14,335百万円、売上高6,962百万円～7,277百万円、売上総利益3,047百万円～3,185百万円、営業利益は500百万円以上へ上方修正いたします。

下半期のマッチング事業については上半期の業績進捗を踏まえ、来期に向けた投資を増強する予定ですが、引き続き生産性向上に取り組むことで利益の最大化を目指し、生み出した利益の範囲内で新規事業への再投資を行う方針に変更はなく、持続的な成長を図るための体制づくりを推し進めます。

ビジネス向けSaaS事業およびその他の新規事業においては、当初掲げた方針に変更はなく、将来の成長に向けた投資として積極的に取り組む方針であり、全社の通期黒字化達成の範囲内で投資を実行してまいります。

これにより、総契約額・売上高は100百万円、売上総利益は80百万円、営業利益は△200百万円となる見込みです。

(ご参考：主要な経営指標における予想値について)

当社は第2四半期以降、非連結決算に移行したため、上記の通り個別業績予想を公表いたしましたが、前会計年度実績との比較の観点から、主要な経営指標として当初連結ベースの業績予想値を公表しております。

以下の経営指標については吸収合併した連結子会社株式会社ビズアシ・株式会社gravieeの第1四半期業績を含めた数値をもとに修正を行った業績予想値となります。

【全社】(%表示は、前年同期増減率)

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	14,148 ~14,786	△7.0 ~△2.8	7,348 ~7,663	△15.8 ~△12.2	3,244 ~3,381	△2.4 ~1.8	300	—
(ご参考) 2020年9月期 通期	15,217	—	8,728	—	3,322	—	△298	—

【マッチング事業】

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	14,048 ~14,686	10.0 ~15.0	7,248 ~7,563	15.0 ~20.0	3,164 ~3,301	15.0 ~20.0	500	—
(ご参考) 2020年9月期 通期	12,771	—	6,303	—	2,751	—	△249	—

【ビジネス向けSaaS事業+その他新規事業】

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	100	—	100	—	80	—	△200	—

(その他)

新型コロナウイルスの影響につきましては、世界的な感染長期化に伴う景気影響など不確実な状況は続いておりますが、現時点で今後の方針に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございます。今後の業績の予想につきましては随時見直しを行い、開示ルールに従って公表してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,240,063	3,689,711
売掛金	581,398	703,456
未収入金	606,085	709,703
営業投資有価証券	51,148	40,815
その他	93,674	66,319
貸倒引当金	△13,050	△9,929
流動資産合計	4,559,319	5,200,077
固定資産		
有形固定資産		
建物	100,656	83,993
減価償却累計額	△53,582	△24,287
建物(純額)	47,073	59,706
工具、器具及び備品	48,683	44,775
減価償却累計額	△29,341	△27,179
工具、器具及び備品(純額)	19,342	17,595
建設仮勘定	4,323	-
有形固定資産合計	70,738	77,301
無形固定資産		
ソフトウェア	40,306	35,122
のれん	-	8,606
無形固定資産合計	40,306	43,728
投資その他の資産		
関係会社株式	201,243	50,991
繰延税金資産	22,144	15,356
その他	144,891	168,393
貸倒引当金	-	△6,056
投資その他の資産合計	368,278	228,684
固定資産合計	479,323	349,715
資産合計	5,038,643	5,549,792
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払金	481,168	570,810
未払費用	104,804	110,502
未払法人税等	28,267	66,970
預り金	1,026,730	1,135,537
前受金	43,427	108,591
資産除去債務	21,198	-
その他	46,761	41,794
流動負債合計	1,852,359	2,134,207
固定負債		
資産除去債務	33,007	33,020
固定負債合計	33,007	33,020
負債合計	1,885,366	2,167,228

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,688,567	2,691,267
資本剰余金		
資本準備金	2,646,567	2,649,267
資本剰余金合計	2,646,567	2,649,267
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,203,139	△1,972,031
利益剰余金合計	△2,203,139	△1,972,031
自己株式	△120	△120
株主資本合計	3,131,874	3,368,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,052	13,883
評価・換算差額等合計	21,052	13,883
新株予約権	350	298
純資産合計	3,153,276	3,382,563
負債純資産合計	5,038,643	5,549,792



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,497,157
売上原価	1,894,236
売上総利益	1,602,920
販売費及び一般管理費	1,339,204
営業利益	263,716
営業外収益	
預り金失効益	24,417
その他	21,049
営業外収益合計	45,467
営業外費用	
支払利息	385
出資金運用損	539
その他	45
営業外費用合計	970
経常利益	308,213
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	15,593
特別利益合計	15,593
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	22,011
特別損失合計	22,011
税引前四半期純利益	301,795
法人税等	70,687
四半期純利益	231,107

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	301,795
減価償却費	11,723
のれん償却額	2,151
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	6,417
支払利息	385
出資金運用損益(△は益)	539
売上債権の増減額(△は増加)	△21,148
未収入金の増減額(△は増加)	△101,441
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,882
未払金の増減額(△は減少)	△15,779
預り金の増減額(△は減少)	107,764
その他	12,452
小計	306,743
利息及び配当金の受取額	14
利息の支払額	△385
法人税等の支払額	△4,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,390
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△13,102
投資有価証券の取得による支出	△31,193
出資金の払込による支出	△19,505
敷金の回収による収入	34,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,218
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	5,400
その他	△314
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	277,257
現金及び現金同等物の期首残高	3,245,355
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,717,866

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間より事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関して、会計上の見積りに用いた仮定は、第1四半期報告書の追加情報の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期損益 計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向けSaaS	計			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	3,448,904	48,028	3,496,933	224	-	3,497,157
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,448,904	48,028	3,496,933	224	-	3,497,157
セグメント利益 又は損失(△)	357,920	△83,894	274,025	△10,309	-	263,716

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

## (連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年11月13日開催の取締役会において、2021年1月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併することを決議し、2021年1月1日付で吸収合併いたしました。

## (1) 取引の概要

## ①被合併法人の名称及びその事業の内容

名称	株式会社ビズアシ	株式会社graviee
事業内容	オンラインアシスタントのマッチング事業	ヒューマンリソース事業
所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー6階	東京都品川区西五反田8-7-11 アクシス五反田ビル502号
代表者の役職・氏名	代表取締役 奥野 清輝	代表取締役 大類 光一

## ②企業結合日

2021年1月1日

## ③企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式

## ④結合後企業の名称

株式会社クラウドワークス

## ⑤その他取引の概要に関する事項

当社は2021年9月期の経営方針に基づき、コア事業であるマッチング事業の成長に集中するべく、事業シナジーの強化及び経営効率の改善を目的として、当社100%出資子会社である株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併いたしました。

なお、当社完全子会社の吸収合併であるため、本合併による新株式の発行及び金銭等の交付は行いません。

## (2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。